

カッターズキャンプ実施報告書

【趣 旨】 日常では味わうことのできない体験を通じて、自然を身近に体感させる。また、多くの人と共に生活する中で、積極性や思いやりの心を育て、新しい自分を発見できるようにする。

【主 催】 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立江田島青少年交流の家
青年ボランティアグループ「カッターズ」

【後 援】 広島県教育委員会、広島市教育委員会、呉市教育委員会、江田島市教育委員会

【期 日】 (1) 春キャンプ
平成25年6月8日(土)～9日(日) (1泊2日)
(2) 夏キャンプ
平成25年8月10日(土)～13日(火) (3泊4日)
(3) 秋キャンプ
平成25年10月12日(土)～13日(日) (1泊2日)
(4) 冬キャンプ
平成25年12月22日(日)～24日(火) (2泊3日)

【会 場】 国立江田島青少年交流の家

【対 象】 小学校4年生から中学校3年生

【参加者数】 (1) 春キャンプ 54人
(2) 夏キャンプ 97人
(3) 秋キャンプ 61人
(4) 冬キャンプ 81人

延べ293人

【企画・運営のポイント】

- (1) 青年ボランティアグループ「カッターズ」が体験活動フォローアップセミナーで学んだことを生かせるキャンプにする。
- (2) 年4回開催し、当交流の家がもつ豊かな自然環境を生かし、春にはオリエンテーリング、夏には海水浴、秋には収穫祭、冬にはクリスマスパーティーと、季節を感じられるプログラムを考える。
- (3) 参加者を学年を解いたグループにし、グループ内でそれぞれに役割を割り当て、責任をもって活動をさせる。
- (4) 参加者の興味を引くために、キャンプの構成が、開会セレモニーで始まり、多彩なプログラムが考えられ、閉会セレモニーでキャンプを締めくくるというストーリー性のあるキャンプにする。
- (5) 職員とカッターズスタッフが「事故を起こさない」という共通認識のもと参加者を見守り、大きな事故を起こさないキャンプを目指す。

【活動の実際】

(1) 春キャンプ

平成25年6月8日(土)～9日(日) (1泊2日)

6月8日(土)	6月9日(日)
<ul style="list-style-type: none"> ・開会セレモニー ・レクリエーション ・野外炊事 	<ul style="list-style-type: none"> ・野外炊事 ・オリエンテーリング登山 ・閉会セレモニー

- ・ 新学期を向かえ、新しく4年生になった子どもが初めてキャンプに参加したり、新しいスタッフが増えたりした。そのため、1人でも多くの子どもたちやスタッフと仲良くなるために「友達100人作ろう」というキャンプの目標にした。
- ・ 1日目に行われたレクリエーションでは班の仲間が互いに打ち溶け合えるように、自己紹介や班の目標を決め、楽しみながら友だちの名前を覚えたり、話しかけたりできるように工夫した。
- ・ 野外炊事では手作り餃子を作った。既製品を使うのではなく、自分たちで作ることで、家に帰り保護者の方に作り方を教えてあげることができたらと思い、野外炊飯をした。



参加者迎え



オリエンテーリング登山



野外炊事

(2) 夏キャンプ

平成25年8月10日(土)～13日(火) (3泊4日)

8月10日(土)	8月11日(日)	8月12日(月)	8月13日(火)
<ul style="list-style-type: none"> ・開会セレモニー ・レクリエーション ・野外炊事 	<ul style="list-style-type: none"> ・海水浴、カヌー ・クラフト ・ナイトウォーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・野外炊事 ・スポーツ ・バーベキュー ・スポーツドミノ ・キャンプファイアー 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーリング ・閉会セレモニー

- ・ 夏キャンプは「声をかけ合おう！」というキャンプ目標にした。3泊4日という長い間だったが、子どもたちが水泳・カヌーや野外炊事などどのプログラムに対しても一生懸命に取り組んでいる様子を見ることができた。スタッフは子どもたちが積極的にプログラムに取り組めるよう配慮し、なるべく班の子どもたち同士で協力し活動を展開できるようなプログラム作りを心掛けた。その結果、子どもたちが協力し合い助け合う場面を多く見ることができた。
- ・ 今年の夏はとて暑かったため、テントを張るなどして熱中症対策を徹底した。スタッフは子どもたちに帽子をかぶらせ、水分をこまめにとるように声かけをした。また、体調の悪い子どもは無理をさせずに部屋で休ませた。その結果、無事に夏キャンプを終えることができた。



カヌー



クラフト



バーベキュー

(3) 秋キャンプ

平成25年10月12日(土)～13日(日) (1泊2日)

10月12日(土)	10月13日(日)
<ul style="list-style-type: none"> ・開会セレモニー ・オリエンテーリング ・クラフト ・キャンプファイアー 	<ul style="list-style-type: none"> ・野外炊事 ・閉会セレモニー

- ・ 秋らしいプログラムになるよう心がけた。1日目にオリエンテーリングを企画した。コースを回る中で、落ち葉やどんぐり、枝などを拾ってくる参加者が多く、秋を感じさせるプログラムになった。クラフト作りでは、竹でローソク立てを作り、夜のキャンプファイアーを盛り上げた。
- ・ 野外炊事では、秋を感じさせるために、かぼちゃのクリームシチューとさつまいもきんとんを作った。各班がそれぞれ、協力して、上手にできあがった。



開会セレモニー



クラフト



野外炊事

(4) 冬キャンプ

平成25年12月22日(日)～24日(火) (2泊3日)

12月22日(日)	12月23日(月)	12月24日(火)
<ul style="list-style-type: none"> ・開会セレモニー ・レクリエーション ・野外炊事 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ ・炊き出し ・クラフト ・ナイトウォーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・登山 ・炊き出し ・閉会セレモニー

- ・ クリスマス時期だったため、クリスマスを意識したプログラムにした。キャンプの中でクリスマスの歌を歌ったり、クリスマスイメージさせるようなゲームをしたりして、雰囲気づくりをした。
- ・ 冬キャンプ中とても寒かった。そのため、子どもの体調管理に気を付けた。無理はさせず、体調が悪い子どもがいた場合すぐに暖かい部屋で休ませた。また、食事前の手洗い・うがいなどを徹底し、インフルエンザの予防に努め、事故なく終了した。



クラフト



登山



炊き出し

【成果】

- (1) 子どもたちが、カッターズのオリジナルのレクリエーションに飽きることなく参加したり、カッターズに気楽に相談できたりしたことで、参加者との距離が縮まり、参加者の事業に関する満足度が高まった。
- (2) キャンプに、オリエンテーリング、海水浴、登山など、当交流の家の季節を感じられる活動プログラムを取り入れたことで、参加者の興味をひき、自然を十分味わうことができた。
- (3) 異学年の仲間と一緒に寝食をともにすることで、互いを思いやり、相手を理解しようとする態度が育った。
- (4) 野外炊事や作業活動では、参加者が責任を持ち最後の片づけまでやり遂げる様子を見ることができた。
- (5) スタッフの人数が多く、多くの目で参加者を見守ることができ、大きな事故が発生することはなかった。
- (6) スタッフが、参加者と年齢が近く、積極的に声かけを行ったことで、参加者の不安を取り除くことができた。

【今後の課題】

- (1) キャンプのプログラムの構成が、時間的に余裕がなかったので、次回のキャンプは、参加者の立場に立ったキャンプにしたい。
- (2) 保護者アンケートでは、キャンプを通して積極性が出てきたという意見がある一方で、楽しいだけで終わっているのではないかという意見がある。参加者が成長を実感できる手立てを考えていく必要がある。